

平成21年度南区実施プラン期末報告

「みんなでみなみパワーアッププラン」

南区では、平成21年度の事務事業の執行にあたり、平成19年4月1日施行の札幌市自治基本条例の趣旨を踏まえ、「平成21年度南区実施プラン」を策定し、取り組みを進めてきました。

取組結果の概要

(1) 地域におけるまちづくりの推進

大学と連携したまちづくりの推進

東海大学と札幌市立大学にまちづくりに関する研究を委託し、東海大学からは南区の魅力を紹介するフリーペーパーが発行され、札幌市立大学では映像やマップなどを活用した情報発信の研究が行われました。

また、学生が地域と協働でイベントを実施する際の調整を行うなど大学と地域の連携促進に努めました。

シーニックバイウェイによる南区の魅力づくりの推進

南区では、区内の各種団体とともに、「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」を目指すシーニックバイウェイの取り組みを進めています。この中で、「花」や「雪あかり」などの地域間の連携した取り組みをはじめ、区内の観光施設などの連携によるスタンプラリーやモニターバスツアーなどの事業を支援したほか、チラシやインターネットなどによって南区の魅力を広く発信しました。

地域まちづくり活動への支援強化

元気なまちづくり支援事業などを通じて、各地区の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、まちづくりセンター地域自主運営の取り組みを支援しました。

また、町内会加入促進パンフレットを配布して、加入促進に対する支援を行いました。

(2) 地域と連携した事業の展開

安全・安心なまちづくりの推進

区と地域が連携した防災・防犯・交通安全などの取り組みとして、「南区防災訓練」を実施したほか、収容避難所の運営方法を学ぶ「収容避難場所運営訓練」を地域住民も参加して実施し、災害対応能力の向上を図りました。

また、「駐輪マナー」と「セーフティ自転車」の街頭啓発を地下鉄澄川駅前などで実施し、自転車利用マナー向上などについて呼びかけました。

健康な地域づくりの推進と子育て支援

区民や札幌市立大学の教授・学生を委員とするウォーキングマップ実行委員会において、「南区ウォーキングマップ」を作成するとともに、南区ウォーキングマップ完成記念ウォーキング大会を開催しました。

また、育児に不安を持つ母親同士が交流し、悩みの共有化と孤立感の軽減を図る機会を提供したほか、子育てボランティア講習会や高校生が親子とふれあう体験事業を開催するなど、地域と連携した子育て支援の取り組みを進めました。

「雪に負けないサッポロづくり」の推進

区内の9単位町内会を対象に「地域と創る冬みち事業・市民懇談会」を開催し、地域の除雪のあり方について話し合いました。冬季には、小学校（3校）の児童を対象に除雪機見学会を実施しました。

また、コロバースボトル（滑り止め用の砂を入れたペットボトル）を養護学校もなみ学園分校と協働で2,575本作成し、区内小学校をはじめ各まちづくりセンターなどの施設に配布しました。

(3) 信頼される区役所づくりの推進

市民自治を推進するために必要な能力の向上とコミュニケーションの活性化

南区来庁者アンケートの集計結果を受けて、改めて職員を対象に接遇向上や業務知識向上についての研修を実施したほか、区職員を対象に障がい者による政策提言サポーター制度を活用したサービスアップ研修を開催しました。

また、新採用職員、転入職員と区長との懇談会を実施し、日ごろ心掛けていることなどを話し合い、職員同士のコミュニケーションの活性化を図りました。

地域への情報の提供と情報共有の支援

広報さっぽろをはじめ、ホームページなどを利用して、区の取り組みや制度を随時お知らせしました。さらに、情報をわかりやすく提供するため、ホームページのコンテンツ「ときどきくま太郎」を活用するなどの工夫をしました。

また、市政の重要課題である「市民自治」、「環境（ごみ含む）」について、広報さっぽろ区版などによる区民への情報提供を通じて、制度への理解を深めました。

市税及び国民健康保険料の公平・適正な職務の遂行

市税について、夜間及び休日納付相談や口座振替の促進のほか、厳格な滞納整理を行うことにより、収入率の向上を目指しました。

また、国民健康保険料についても、これまで職員と保険サービス員との連携のもと、訪問・電話催告、窓口などによる口座振替の積極的な勧奨、滞納者の財産調査などを行いました。

(4) 環境都市を目指した取り組み

地域に根ざしたリサイクル運動の推進

腐葉土を活用した循環型モデルガーデンを地域住民と協働で製作するとともに、公園の利用促進を目指し、平成20年度に引き続き「公園まなびのヒント講座」、「公園冬遊びの達人講座」などを開催しました。

また「落葉を通じた環境に関する教育授業」などを実施したほか、定山溪地区において、生ごみのたい肥化を進め、そのたい肥を利用して農作物を生産する事業を支援しました。

環境配慮行動の促進

地下鉄真駒内駅周辺にて、連合町内会、中学校などが協働で花植えを実施したほか、地下鉄澄川駅前広場にて、日赤奉仕団などと協働で清掃を実施するなどにより、地域の美化を図りました。




これらについては、南区実施プラン推進会議を開催し、四半期ごとに進捗状況の管理、見直しを行いながら、区職員がそれぞれの役割を担い取り組みを進めてきました。その結果、多くの施策については目標を達成することができました。

新年度も、引き続き、自治基本条例の趣旨を踏まえ、さらなる取り組みを進めていきたいと考えております。

平成22年(2010年)3月31日

南 区 長 筑 田 清 貴

取組結果の詳細

評価		個数
 よくできました	目標を上回る成果をあげることができました。	4
 目標どおり	目標どおりの成果をあげることができました。	46
 もう少し	目標どおりの成果をあげることができませんでした。	0

(1) 地域におけるまちづくりの推進

(※下線は、当初の目標項目です。)

重点取組項目 1：大学と連携したまちづくりの推進

大学が有する機能を活用し、地域課題の解決などに取り組んでいきます。

取組結果

評価 

- ・東海大学にまちづくりに関する研究を委託し、研究の一環として南区の魅力を紹介するフリーペー「S A N」が発行されたほか、地域のまちづくり拠点として、コミュニティスペース・カフェ「旧道茶屋」の運営などが行われました。
- ・札幌市立大学にシーニックバイウェイ制度を活用したまちづくりに関する研究を委託し、映像やマップなどを活用した情報発信の研究や、南区ブランドの形成に関する研究が行われました。

学生たちがまちづくり活動へ積極的に参加し、地域を活性化させるための取り組みを支援します。

取組結果

評価 

- ・東海大学と南沢町内会連合会等が共同で「第3回ラベンダーまつり」を開催しました。
- ・「定山溪かっぱウィーク」において、札幌市立大学の学生による「アート縁日」の開催のほか、東海大学の学生による「定山溪スイーツ」の開発やカフェ運営などに支援をしました。
- ・札幌市立大の学生が芸術の森地区「雪あかりの祭典」の一環として大学内で実施するイベント「ARTOT（アートウ）」の開催を支援しました。
- ・ねんりんピック共催イベントとして真駒内公園で開催された「南区朝市&観光フェア」において、東海大学の学生による南区の特産物を販売する物販コーナーの運営や、オリジナルエコバッグやラベンダーの香り袋作りに挑戦できる体験コーナーの運営を行いました。

重点取組項目 2：シーニックバイウェイによる南区の魅力づくりの推進

この取り組みを広くPRするため、各種広報媒体を活用した情報発信を行います。

取組結果

評価 

- ・「シーニックバイウェイスタンプラリー in 南区」を実施し、PRチラシの中で南区における取り組みを紹介しました。新聞折込チラシとして市内約40万世帯に配布しました。
- ・フリーペーパー「Ha-Naプレス」において、春の行楽をテーマとした周遊ルートやシーニックバイウェイについての様々な取り組みが紹介されました。
- ・区のホームページにおいて、シーニックバイウェイの概要と取り組みについて紹介しました。このほか、広報さっぽろ7月号の特集（南区版）で、シーニックバイウェイの取り組みを紹介しました。

この取り組みを通じて、区内の団体間の連携を支援するとともに、この連携によって、地域の魅力をつなぎ、区内の一体感や統一感のある取り組みを推進します。

取組結果

評価 

- ・区内の観光スポットをつなぐ「シーニックバイウェイスタンプラリー in 南区」の実施にあたり、施設間の調整などを支援しました。
- ・「さっぽろ再発見南区花めぐりと夏野菜を堪能するモニターツアー」などのバスツアーの開催や雪あかり交流会の開催を支援するなど、南区の魅力づくりにつながる取り組みを関係団体と協力しながら推進しました。

【モニターツアー】




重点取組項目 3 : 地域まちづくり活動への支援強化

区役所やまちづくりセンターを拠点として、地域住民が主体的に取り組むまちづくり活動を支援します。また、まちづくりセンターの地域自主運営の取り組みを支援します。

取組結果

- ・元気なまちづくり支援事業などを通じて、各地区の主体的なまちづくり活動を支援しました。
- ・市民自治実践のための取り組みとして、地域の事情を良く知る住民が自らまちづくりセンターの運営を行う「まちづくりセンターの地域自主運営化」を、澄川地区と石山地区に引き続き、真駒内地区と芸術の森地区でスタートしました。
- ・区内各地で開催された、イルミネーションやアイスキャンドルなどで地域を灯す雪あかりの取り組みを支援しました。

評価 
まちづくりセンターの
地域自主運営化が
新たに2地区でスタートしました

区内各部の連携体制を一層強化することなどにより、まちづくりセンターの機能強化に努めます。

取組結果

- ・区役所関係課とまちづくりセンター間の情報共有を図るため、まちづくりセンター用事務マニュアルを更新しました。
- ・定例会議などにおける区役所各部とまちづくりセンター所長との情報交換を通じ、連携体制をより一層強化しました。

評価 

地域のまちづくり活動の担い手である町内会の振興を図るため、加入参加に対する支援を行います。

取組結果

- ・「南区町内会・自治会加入のご案内」ポスターを作成し、転入者の多い時期にあわせて地下鉄真駒内駅構内に掲示しました。このほか、町内会加入案内パンフレットを区役所1階戸籍住民課窓口に配置しました。

評価 

「まちづくり参加・入門教室」を実施し、これまで活動に参加したことのない区民が活動に参加するきっかけを作るほか、子どもたちが地域のまちづくり活動に参加する体験を通じて、将来のまちづくりの担い手を育成する取り組みを行います。

取組結果

- ・まちづくりに関心のある区民等を対象とした「南区まちづくり参加・入門教室」を開催し、講演会及びパネル展、体験・見学会を行いました。

評価 

「地域みんなで子どもを見守る南区運動」を引き続き全地区統一テーマとし、地域における活動の支援を行います。

取組結果

- ・区内小学校で「南区 春の児童見守り運動」を実施し、地域団体と連携した見守り活動を推進しました。特に、札幌市立南小学校では北海道日本ハムファイターズ球団マスコット「B・B」と北海道警察マスコットキャラクター「ほくとくん」が腕章をつけ、見守り活動に参加しました。
- ・協力申し出のあった事業所に、車両用パトロールステッカーを交付したほか、見守り活動団体からの申請に基づき、パトロール用腕章を交付することにより、地域における活動を支援しました。



【児童見守り運動】

評価 

(2) 地域と連携した事業の展開

重点取組項目 1 : 安全・安心なまちづくりの推進

職員の災害対応力の向上を図るため、新採用職員等に対する研修や、災害時の対応を想定した訓練などを実施します。

評価



取組結果

- ・新採用職員を対象に、札幌市の防災体制や災害発生時における区職員の役割などについての研修を実施し、防災知識の向上を図りました。
- ・防災週間に合わせて、区の防災体制及び災害発生時の対応を再認識するために、区役所全職員に対して防災マニュアルの活用を呼びかけました。
- ・収容避難場所の運営方法を学ぶ機会として、地域住民も参加する収容避難場所運営訓練を実施し、災害対応力の向上を図りました。



【収容避難場所運営訓練】

区防災訓練の実施にあたり、より実践的な訓練計画について地域と積極的に協議をするほか、防災リーダー研修の実施内容を充実させるなど、自主防災組織の育成を支援します。

評価



取組結果

- ・南区防災訓練を実施するにあたり藻岩下連合町内会と訓練メニューなどについて意見交換を行い、藻岩下連合町内会の地域住民のほか防災関係機関などの約290名が参加して、災害時要援護者の避難誘導訓練、発災対応型訓練などを行い、防災意識及び地域防災力の向上を図りました。
- ・地域における防災活動を支援するために、石山地区において自主防災の必要性及び重要性を説明し、自主防災活動の結成について働きかけを行いました。
- ・災害発生時における被害拡大の防止や救出救護には、地域住民の協力が必要となることから、地域住民の防災知識を向上させ、自主防災組織の中心的な役割を担う人材の育成を図るために防災リーダー研修を南消防署の協力を得て開催し、122名の住民が参加しました。

犯罪の未然防止や事故に遭わないため、区民啓発の場としてパネル展やキャンペーンなどを実施するほか、地域における防犯活動を支援します。

評価



取組結果

- ・新入学シーズンの通学路パトロールに合わせて、公用車に「青色回転灯」を装着して区内各地区で防犯パトロールを実施しました。
- ・札幌市における防犯の取り組みを広く市民へ周知するために、南区民センターロビーで防犯パネル展を開催しました。
- ・区内各小学校が開催するスクールゾーン実行委員会に区役所、交通安全運動推進委員会、南警察署の各職員が参加して、交通事故防止のほか防犯情報を提供しました。

地域が取り組む交通安全運動を支援するほか、近隣自治体と連携した啓発活動を実施します。

評価



取組結果

- ・区内で発生した死亡交通事故（道道小樽定山溪線）を受けて、交通事故防止のため、区役所、交通安全運動推進委員会、南警察署と連携して死亡事故現場付近において街頭啓発を実施しました。
- ・国道230号での交通事故を防止するため、喜茂別町と合同で「交通安全街頭啓発」を中山峠において実施しました。この街頭啓発には、北海道警察本部、南警察署及び倶知安警察署の協力のほか、南区役所、喜茂別町、後志管内の交通安全運動推進委員会等の関係者約200名が参加し、通行車両及び運転者に啓発品を配布し、交通事故防止を呼びかけました。
- ・南区交通安全運動推進委員会、南警察署、区役所の共催で、藻岩下地区・澄川地区などにおいて街頭啓発及び白バイ・啓発車両によるパレードを実施しました。

自転車事故の防止、自転車利用マナー向上を目指すために、地下鉄駐輪場などにおいて啓発活動を実施します。

評価 

取組結果

- ・「駐輪マナー」と「セーフティ自転車」の街頭啓発を地下鉄澄川駅前ほかで実施し、自転車利用マナー向上などについて呼びかけました。このほか、区内各小学校が開催するスクールゾーン実行委員会の場において、自転車に関する事故防止・利用マナーについて啓発活動を実施しました。
- ・自転車事故の未然防止のため、藻岩高校の生徒を対象にスタントマンによる事故を再現する研修を南警察署及び本庁部局と連携して実施しました。

重点取組項目 2 : 健康な地域づくりの推進と子育て支援


地域包括支援センターや介護予防センターとの合同事業として、介護予防や地域支援事業の普及啓発イベントを地区連合町内会等の地域住民と連携・協働して各地域単位で実施します。

評価 

取組結果

- ・介護予防事業として、区内の6地区や芸術の森地区の4つの単一町内会において介護予防まつりを開催し、介護予防の普及啓発を行いました。


区民や大学と協働して、緑豊かな南区の見どころを楽しめるコースを盛り込んだウォーキングマップを作成し、だれもが気軽にウォーキングに楽しめる環境づくりを行います。

評価 
ウォーキングマップが完成し
予想以上に配布されました

取組結果

- ・区民や札幌市立大学の教授や学生を委員とするウォーキングマップ実行委員会を開催し、平成21年9月に完成した「南区ウォーキングマップ」の確認や今後の活用方法について検討を行いました。
- ・南区ウォーキングマップ完成記念ウォーキング大会を開催したところ、59名の区民が参加し、ウォーキングへの関心の高さが感じられました。その後も、マップを活用したウォーキングが、地域で継続して行われています。
- ・「南区ウォーキングマップ」は、区内の公共施設や健康づくり団体などを通じて3,800部配布しました。自分の地域を再発見し、ウォーキングを促進するきっかけとなりました。

区内の健康づくりサポーターや健康づくり自主活動グループ等と協働して、健康まつりやウォーキングマップを活用したウォーキング大会を開催し、地域と連携した健康づくりを進めます。

評価 
南区住民有志による
「みなみくん歩好会」が
発足しました

取組結果

- ・健康づくりサポーターや健康づくり自主活動グループをメンバーとした実行委員会を立ち上げて、「南区ウォーキングマップ」を活用したウォーキング大会を開催しました。
- ・南区ウォーキングマップを使ったウォーキング大会の企画・運営を行う「みなみくん歩好会」が、南区住民有志により結成されました。
- ・スノーシューウォーキング大会（エドウィン・ダン記念公園～真駒内公園）を実施し、31名が参加しました。この大会は、「みなみくん歩好会」の第1回目の協働企画事業で同会員16人がサポーターとして活動したほか、スノーシューを体験し、冬場もウォーキングが楽しめることを区民に知ってもらうよい機会となりました。



【ウォーキング大会】

南区における食育推進を図るため、学校や食生活改善推進員など関係団体で構成する「南区食育ネットワーク会」を新たに構築します。

評価 

取組結果

- ・「南区食育ネットワーク会」の構成委員及びその内容についての検討を行い、「南区食育ネットワーク会」を新たに構築し、第1回会議を開催しました。会議では、各関係機関よりご意見をいただき、子どもたちの食を取り巻く現状等の確認を行いました。

健康づくりネットワーク会（男厨会）や食生活改善推進員協議会の協力を得て「男子厨房に入ろう！料理教室」を実施するほか、男性や料理初心者が気軽に作れるレシピ集を作成して配布します。

評価 

取組結果

- ・「男子厨房に入ろう！料理教室」を南区民センターで2回（2日間コース）実施し、33名が参加しました。参加者の満足度も高く、食の自立へのきっかけ作りとなりました。
- ・男性や料理初心者が気軽に作れるレシピ集を作成し、南保健センターなどで配布しました。

子育てに不安を持つ母親同士が交流する「すくすく子育てミーティング」を通じて、悩みの共有化と孤立感の軽減を図ります。

評価 

取組結果

- ・子育てサロンなどで、乳幼児や親に関わる主任児童委員を対象に、児童心理士が講師となって最近の子育て状況や発達障害等の理解を深めるための勉強会（主任児童委員ミーティング）を実施しました。
- ・児童心理士が参加して、育児に不安を持つ親に対するグループミーティングを実施し、悩みの共有化と孤立感の軽減を図りました。

地域住民、地域の子育て支援者向けの児童虐待防止研修会を実施し、地域と連携した虐待防止の取り組みを進めます。

評価 

取組結果

- ・児童虐待防止研修会を主催する「南区児童虐待予防防止ネットワーク会議」の要綱を改正し、「南区要保護児童対策地域協議会」と変更して開催しました。
- ・「南区要保護児童対策地域協議会」主催の研修会を実施し、45名が参加者しました。

子育てボランティア講習会や読み聞かせ講演会を開催し、子育てに関する知識・技術を提供してボランティアの育成を図ります。また、主任児童委員を対象とする勉強会などを通じて、地域の育児力を発揮するための支援をします。

評価 

取組結果

- ・子育てボランティア講習会を開催し、129名に登録いただいています。また、読み聞かせ講演会、ボランティア研修会交流会や託児フォローアップ研修を実施しました。さらには、毎月開催される主任児童委員勉強会において情報提供を行いました。

中高生が乳幼児と接しながら生命の大切さや育児の重要性を体験する次世代育成事業「ふれあいキッズ」を実施します。

評価 

取組結果

- ・「ふれあいキッズ in 札幌新陽高校」を実施し、16組の親子（子ども19人）と高校生16人が参加し、育児の重要性を実感しました。



【ふれあいキッズ】

重点取組項目 3 : 「雪に負けないサッポロづくり」の推進

地域・学校が除雪機械の能力や特性などを、懇談会や授業で一緒に体験し理解を深めてもらうことにより、協働によるより良い除雪の推進を図ります。

評価



取組結果

- ・区内の9単位町内会を対象に「地域と創る冬みち事業・市民懇談会」を開催し、地域の除雪のあり方について話し合い、身近な雪置き場を見つけるなどの成果を得ました。
- ・区内3つの小学校で除雪機械の見学等の体験授業を開催し、除雪機械の特性や危険性に対する理解を深めてもらいました。



【除雪機械の体験授業】

コロバースボトル（滑り止め用の砂を入れたペットボトル）を、学校や地域と協働で作成し、区内各所に配布し、地域で取り組む冬季間の滑り止め活動を推進します。

評価



取組結果

- ・コロバースボトルを維持管理課で1,500本、もなみ学園分校で1,075本、合計で2,575本を作成し、区内小学校をはじめ、区役所や各まちづくりセンターに配布し、区民の滑り止め活動を支援しました。

(3) 信頼される区役所づくりの推進

重点取組項目 1 : 市民自治を推進するために必要な能力の向上とコミュニケーションの活性化

接遇の向上や業務知識を深めるため、各部課単位で勉強会等を実施します。

評価



取組結果

- ・南区来庁者アンケートの集計結果を受けて、改めて全職員を対象に接遇向上や業務知識向上についての研修を各職場単位で実施しました。
- ・市民自治推進研修（プレゼンテーション編）を実施し、説明力向上のためのスキル、話し方のスキルを学びました。
- ・各課において、専門的な研修を実施するなど業務知識の向上を図りました。
(課税課：土地評価研修や地理情報システム研修ほか、保健福祉課：認知症サポーター養成講座ほか
保護課：新任ケースワーカー研修や専門的科目研修)

障がい者による政策提言サポーター制度を活用した職場研修を実施し、障がい者の視点から見た行政サービスの課題を知るとともに、障がい者に対する接遇力の向上を図ります。

評価



取組結果

- ・障がい者の視点から見た行政サービスの課題を知ることによって市民サービスの向上を図ることを目的として、区役所職員を対象に障がい者による政策提言サポーター制度を活用したサービスアップ研修を開催しました。

案内表示などの点検・見直しを行い、だれもが利用しやすい区役所づくりを目指します。

評価



取組結果

- ・区役所庁舎の点検を継続して行い、問題点や改善点の把握に努めました。
- ・3階連絡通路の断熱工事を行い、冬季間、通路の床が結露で滑りやすくなっていたのを解消し、誰もが安心して通行できるように改善しました。

研修等を実施することにより職場内のコミュニケーションを活性化させ、職員同士の「環(わ)」の充実・拡大を目指します。

評価 

取組結果

- ・新採用職員、転入職員と区長との懇談会を実施し、日ごろ心掛けていることなどを話し合い、職員同士のコミュニケーションの活性化を図りました。
- ・新規採用職員・転入職員を対象に、各部において事務概要研修を合計4回実施しました。
- ・職員間の情報を共有するとともに、職場内のコミュニケーションを活性化させるために、各部所において課全体会議や係会議を行いました。

庁内イントラを活用し、庁内の連携を図ります。

評価 

取組結果

- ・庁内イントラを活用して、様々な情報を発信することで、職員の連携を拡充・拡大するとともに職員間での情報の共有化を図りました。

重点取組項目2：地域への情報の提供と情報共有の支援

区のホームページをはじめ各種媒体を有効活用し、区の情報を正確に、適切な時期に提供します。

評価 

取組結果

- ・広報さつぼろや区のホームページなどの各種媒体を有効に活用して、区民が必要とする情報をわかりやすく掲載しました。
- ・南区民センターにおいて「ふらっとホーム」を開催し、市長との意見交換会を行いました。
- ・戦争のない平和な世界を願い、藤野南小学校において「南区平和事業」を実施し、戦争体験を小学生に伝えました。



【ふらっとホーム】



【南区平和事業】

市政の重要課題である「市民自治」、「環境(ごみ含む)」について、広報誌区版等による区民への情報提供を通じて、制度への理解を深めてもらいます。

評価 

取組結果

- ・区のホームページ「ときどきくま太郎」や広報さつぼろなどを利用して区民への情報提供を行い、市政への重要課題への理解を深めました。

地域のホームページの運営や情報誌の発行など、地域の主体的な情報発信活動を支援します。

評価 

取組結果

- ・南区地域ふれあい事業助成金で各地区の広報誌発行を支援しました。

重点取組項目 3 : 市税及び国民健康保険料の公平・適正な職務の遂行

課税対象の完全な把握と適正な課税事務に努めます。(市税)

評価 

取組結果

- ・各税目の返戻納税通知書について、転居先などの調査により課税保留の減少に努めました。
- ・償却資産の税務署調査及び実地調査を行ったほか、市街化調整区域における課税客体（家屋）の実地調査を行いました。

夜間及び休日納付督促の実施や悪質滞納者などへの財産差押など滞納対策の強化を行います。(市税)

評価 

取組結果

- ・毎週火・木曜日に夜間納付相談を実施したほか、休日納付相談を実施しました。
- ・942件（前年同期比5.1%増）、税額241,852千円（前年同期比30.0%増）の差押等を執行しました。

様々な媒体を活用してPRを行い、口座振替を推進します。(市税)

評価 

取組結果

- ・部内各所にポスターを掲示したほか、チラシを納税相談等窓口・証明窓口に備え付けて周知を図りました。
- ・口座振替PR用懸垂幕及び納期のお知らせ懸垂幕を、随時区役所に掲げました。

南区アウトバウンドコールセンター構想（電話による市税の納付呼びかけ業務）開設に向けて検討を行います。(市税)

評価 
検討結果が反映され、全市での試行実施に結びつきました

取組結果

- ・プロジェクト会議の検討内容を取り入れた形で「市税の納付呼びかけ業務」が財政局税政部において、全市的に試行実施されました。平成22年度も引き続き全市的に試行実施する予定であり、これまで進めてきたプロジェクト会議の目的は達成されました。

市税のコンビニ納付について調査研究を行います。(市税)

評価 

取組結果

- ・コンビニ納付の課題や問題点などを整理して、財政局税政部と協議を進めました。

新規加入時、窓口納付相談時などの機会を捉えて、口座加入を促進します。(国民健康保険料)

評価 

取組結果

- ・国保加入時などに口座振替加入の促進を行い、2月末の加入率63.04%（全区平均51.10%）となりました。

窓口の短期保険証交付及び外勤督促等により滞納者との折衝機会の確保に努めます。(国民健康保険料)

評価 

取組結果

- ・保険サービス員による滞納世帯等への訪問を34,156件（4～3月実績）実施しました。
- ・電話催告については職員・保険サービス員を合わせて5,322件（4～3月実績）実施しました。

預貯金等の財産調査などにより、滞納処分等を視野に入れた状況把握に努めます。
(国民健康保険料)

評価



取組結果

- ・滞納のある世帯について、合計2,044件の財産調査(預貯金・生命保険)を実施しました。

(4) 環境都市を目指した取り組み

重点取組項目1：地域に根ざしたリサイクル運動の推進

区民と連携して公園の落ち葉を利用した腐葉土づくりをはじめ、落ち葉のボランティアグループと共にごみの減量化・資源化を進め、腐葉土を活用し宿根草・香りのある草花を主とする循環型モデルガーデンを整備するほか、落ち葉のリサイクル出前講座を行うなど、区民と協働でみどりのリサイクル運動を確実に実施します。

評価



取組結果

- ・ボランティア団体「グリーンエプロンズ」がエドウィン・ダン記念公園で循環型モデルガーデンを製作しました。
- ・真駒内曙小学校で、「落葉のリサイクル」や「落葉を使ったクラフト作成」など落葉を通じた環境に関する授業を実施しました。



【環境に関する授業】

公園を利用して地域住民と連携・協働で「公園まなびのヒント講座」「公園冬遊びの達人講座」等を拡大・充実させて開催するとともに、プレイリーダーの育成と、地域活動についても支援をします。

評価



取組結果

- ・藻岩下公園において、札幌市立南小学校2年生が生活科の学習として樹名板を作成し、樹木について勉強をしました。
- ・札幌市ふれあい・いきいきサロン「ちびっこひろば」が南沢エイト公園で、樹名板の作成と公園内にある樹木の勉強をしました。
- ・藻南公園において、指定管理者 KPC パークマネジメントが近隣の幼稚園児に落ち葉を使った遊びの指導や焼き芋会を実施しました。

定山溪地区のホテル等から排出される生ごみをたい肥化し、そのたい肥を利用して生産した農作物をホテル等で食材として活用する事業を支援します。

評価



取組結果

- ・平成20年度に引き続き、一般世帯(101世帯)及び事業者(20事業者)が、生ごみ回収拠点事業に協力をしていただきました。
- ・生ごみ堆肥化処理施設整備計画に関する地元説明会を開催するなど、生ごみの堆肥化を進め、そのたい肥を利用して農作物を生産する事業を支援しました。

食材や資源を無駄にしない調理の工夫、地域の豊かな食文化をはぐくむ食品に関する知識の普及に努めます。

評価



取組結果

- ・母親教室(月1回開催)において、食材や資源を無駄にしない調理の説明を行いました。参加者は家庭でも簡単に取り組めるエコの工夫について学びました。

重点取組項目 2 : 環境配慮行動の促進

環境配慮行動（EMS）の一層の浸透を図り、省資源・省エネルギーの取り組みを推進します。

評価



取組結果

- ・各課のEMS担当者が集まり、職場での取り組み事例を報告するとともに、省資源・省エネルギーに向けた取り組みについて意見交換を行いました。

ごみ減量をはじめとする環境問題に関する研修を実施します。

評価



取組結果

- ・ごみ有料化研修を南清掃事務所の協力で開催し、職員の約8割にあたる約200名が受講しました。
- ・環境にやさしい暮らし方について、外部講師を招き研修会を開催し、職員186名が受講しました。

区役所周辺のごみ拾いなど職員のボランティア活動を実施します。

評価



取組結果

- ・5月から10月の毎月10日と25日の昼休みに区役所周辺のごみ拾いを行う「職員清掃ボランティア」を8回実施し、延べ162名の職員が参加しました。

区役所から出るごみの分別をより一層推進します。

評価



取組結果

- ・人事異動に合わせて、転入職員をはじめとする全職員にゴミ分別の周知を図るなど、ゴミ分別の徹底を適宜呼びかけました。

地域住民とともに地下鉄駅前などの清掃及び花植えを行います。

評価



取組結果

- ・日赤澄川分団とともに、澄川駅前広場において花苗植栽と清掃活動を実施しました。
- ・地下鉄真駒内駅前や南区役所周辺の歩道に、連合町内会、中学校、周辺企業等が協働で花植えを実施しました。



【花苗植栽】